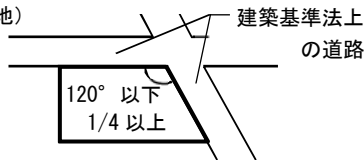


v-07 細則第11条第1項各号による角敷地等図解

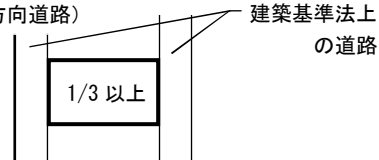
神戸市建築基準法施行細則第11条第1項各号に規定する内容は、次図のとおりとする。なお、①から⑩は、細則各号を示し、 $1/X$ 以上とあるのは、敷地周長の X 分の1以上が道路に接することを示す。

I. 300㎡以下の敷地

①号（角地）

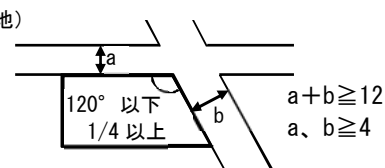


⑤号（二方向道路）

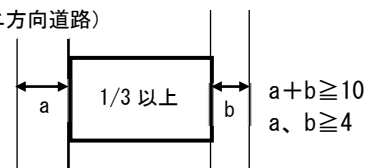


II. 2000㎡以下の敷地

②号（角地）

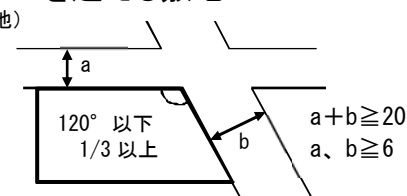


⑥号（二方向道路）

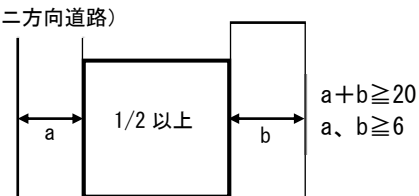


III. 2000㎡を超える敷地

③号（角地）

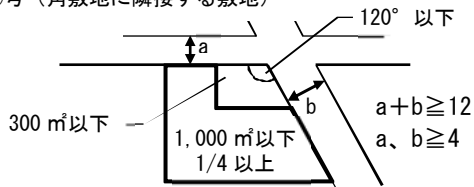


⑦号（二方向道路）

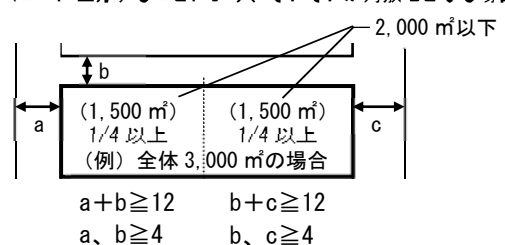


IV. その他

④号（角敷地に隣接する敷地）



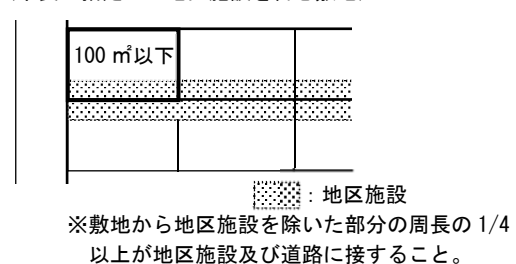
⑧号（2つに区分することにより、それぞれが角敷地となる場合）



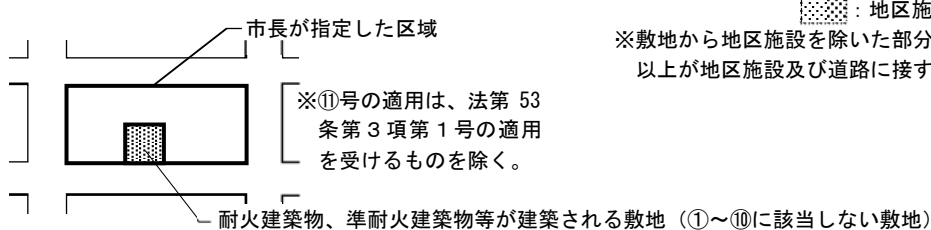
⑨号（公園、広場、川、海、軌道敷地等に接する敷地で角敷地に準ずるもの）



⑩号（市長が指定した地区施設を含む敷地）



⑪号（市長が指定した区域内の敷地における耐火建築物等）



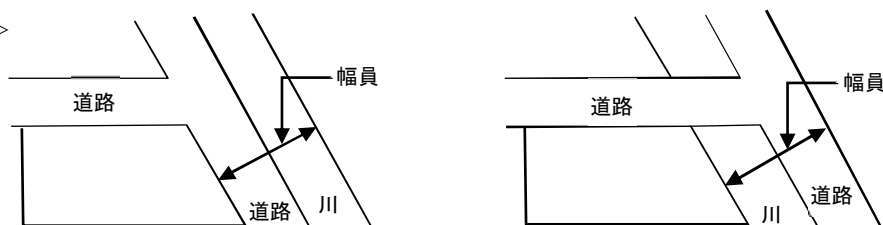
関連法令等	法第53条第3項第二号，細則第11条
参考	
実施年月日	H21. 8. 18, H27. 4. 1, R1. 8. 1

【解説】

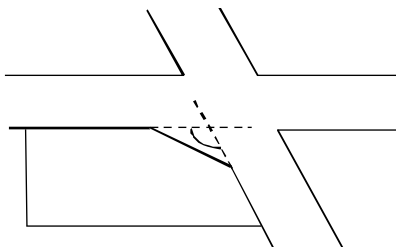
1. 公園、広場、川、海、軌道敷地等は次のものとする。
 - (1) 公園は都市公園法に基づく都市公園であること。（開発に伴う市に帰属する提供公園を含む。）
 - (2) 広場は、公的に管理され、将来にわたり、空地として確保されることが明確であること。
 - (3) 川は、河川法に基づく河川又は公的に管理された水路であること。
 - (4) 海は、護岸を含む。
 - (5) 軌道敷地は、高架で下部を屋内的用途に供している場合は適用しない。
 - (6) 公園、広場、川、海、軌道敷地等には、自動車専用道路（高架で下部を屋内的用途に供している場合は適用しない。）を含む。

2. 公園、広場、川、海、軌道敷地等が前面道路の反対側にある場合、あるいは敷地の前面の公園、広場、川、海、軌道敷地等の反対側に道路がある場合においては、当該幅員は両者の幅員の合計とする。

<例>



3. 角敷地ですみ切りがある場合の内角の測り方は、すみ切り部分の道路境界線の延長が交わる角度とする。



4. 内角が120度を超える場合は、1つの道路とみなす。
5. 敷地と道路に高低差がある場合でも、敷地は道路に接しているものとする。
6. 道路の幅員が一定ではない場合の取扱いを下記に示す。

<図>

